

紫式部

全54巻(帖)



京都、宇治橋にある紫式部像

第1部は主人公、光源氏が多くの女性と関係をもちながら、運命に導かれて栄華をきわめる姿を描く。第2部は光源氏は最愛の紫の上を失い栄華は内から崩壊する。第3部は光源氏没後の物語で不義によって生まれた薫大将を主人公として不安に満ちた暗い世界が展開される。



1、紫式部(973ころ~1014ころ 平安中期)はおおよそ1,000年前の女流作家です。

---

2、『源氏物語』は1008年ごろ紫式部によって書かれました。

---

3、それは世界最古の長編小説です。

---

Arthur Waley

4、アーサーウェーリーというイギリス人が1925年に英訳しました。

---

5、European literary men and upper-class people were surprised to known the magnificence of it.

---

6、物語は、光源氏とその女性たちについて語られています。

---



7、Through his life, which was filled with glory and agony, the love between men and women and parents and their children are told.

8、当時は一夫多妻制でした。

9、百人一首に紫式部の和歌があります。



10、二千元札の裏に源氏物語の絵と文が印刷されています。





